

各 位



平成20年 2月 8日

会 社 名 兼松日産農林株式会社
代表者名 取締役社長 青柳一彦
(コード番号 7961 東証・大証第1部)
問合せ先 経理部長 田中昭浩
(TEL. 03 - 3265 - 8231)

平成20年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年11月9日の中間決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 20年 3月期通期連結業績予想数値の修正(平成 19年 4月 1日 ~ 平成 20年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	12,400	60	70	0
今回修正予想(B)	12,400	140	140	90
増減額(B - A)	0	80	70	90
増減率 (%)	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績(平成19年 3月期)	13,077	77	74	654

2. 20年 3月期通期個別業績予想数値の修正(平成 19年 4月 1日 ~ 平成 20年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	11,600	80	90	60
今回修正予想(B)	11,600	160	160	150
増減額(B - A)	0	80	70	90
増減率 (%)	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績(平成19年 3月期)	12,199	68	63	667

3. 理 由

昨年6月の改正建築基準法施行による建築確認申請手続き厳格化の影響から、新設住宅着工戸数が7月以降急激に落ち込み、当社の事業環境は非常に厳しいものとなっております。また、戸建住宅の着工数については持ち直しつつあるものの、急速な回復は期待できないと考えられます。

この状況下で、価格回復を見据えながら木材製品在庫の販売を進めていましたが、不安定な相場のなか先送りすることなく今期中の処分を積極的に進めることとしたため、一時的に損失額が拡大し、業績は前回発表数値を下回る見込みです。なお、中間期に決定いたしました保存木材部門の需給調整のための生産体制再構築は計画どおり実行しており、また、保存木材部門以外の事業の業績はほぼ想定どおり推移しております。

上記の業績予想等は、現時点において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上